

令和 7 年度

事業報告並びに収入支出決算報告
(案)

シニアクラブ静岡県

〔一般財団法人 静岡県老人クラブ連合会〕

令和7年度 事業実施報告書

第1 重点項目の実施について

全国老人クラブ連合会のメインテーマである「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」と共に、本県独自のテーマとして仲間づくりを意識した「みんなで地域の絆を広めよう！」を掲げ、全国老人クラブ連合会、県下各市町連合会を始め、関係行政機関、関係団体等との連携のもと、次の重点項目を核として、各種事業を推進した。

1 地域共生社会の実現に向けた取組

I

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らすため、また、地域包括ケアシステムを更に発展させ、全ての人々が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らすことのできる地域共生社会の実現に向け、私たちシニアクラブへの期待は大きなものがある。

このため、自治会ほか地域の様々な団体と連携・協働し、以下の取組を促進した。

- (1) 高齢者の孤独・孤立を防ぐため、健康づくり活動や支え合い活動などの仲間づくり活動
- (2) 認知症の方やその家族の暮らしを支える、見守り・声掛け・趣味活動への誘い掛けなどの友愛活動
- (3) 関係団体と連携した生活課題・地域課題の解消に向けた活動

2 会員増強運動の推進

II

近年、解散・休会によるクラブ未設置地区が増加するなど、クラブ活動の存続すら危惧される事態となっている。

これ以上仲間を減らさないという強い意識の下、会員増強に関する新たな動向にも留意しつつ、県・市町連合会、単位クラブ、会員が一丸となって会員増強運動を推進した。

3 健康づくり・生活支援活動の推進

III

健康長寿の実現のためには、高齢者自らが健康づくりや支え合い活動に関心を寄せ、仲間と共に実践していくことが極めて重要である。

単位クラブにおけるフレイル予防活動や友愛活動を基盤とした幅広い生活支援活動等のこれまでの実績を生かし、健康づくり・生活支援活動のすそ野を広げるよう支援した。

4 交通安全対策の推進と高齢消費者被害の撲滅

IV

県内交通事故死者の過半が高齢者事故であり、このうち半数以上が歩行

中に発生しているため、交通安全講座の開催、「しずおか・安全横断3つの柱」（横断の意思表示、横断前の安全確認、横断中の安全確認）の推進、運転免許証自主返納制度の周知など、高齢者交通安全運動の徹底に努めた。

また、振り込め詐欺等特殊詐欺被害は、大半が60歳代以上、かつ、女性が多いという特徴があるため、消費者被害防止に向けて情報提供の充実・強化等に努めた。

第2 各種事業の実施について

令和2年初頭から始まったCOVID-19（新型コロナウイルス）への感染拡大も5年5月には感染法上の5類となり、7年度は以前の生活態様に復帰していた。

シニアクラブ静岡県としては、役員を始め会員の熱意を得て、概ね計画どおりの事業を実施できた1年であった。

1 健康増進活動

(1) 高齢者いきいき創造広場開催事業（Ⅲ）

県内各地のシニアクラブの芸能や文化活動の発表等を行うことにより、多くの県民とのふれあい、高齢者の生きがいづくり、社会参加を促進することを目的に開催した。

ア 開催日等

○日 時 令和7年9月25日(木)

○会 場 長泉町文化会館 ベルフォーレ大ホール

○参加者 シニアクラブ会員、一般高齢者等 約 800人(19市町)

イ 内 容

(ア) 開会式及び表彰式

○令和7年度静岡県老人クラブ連合会会長表彰（5号表彰のみ）

○令和7年度静岡県老人クラブ連合会加入促進運動表彰（市町連合会のみ）

○令和7年度全老連活動賞表彰

(イ) 講演 吟詠家・尺八奏者 前田健志による「吟と尺八、歌と響き」

(ウ) 芸能交流広場 参加：19団体 461人

(エ) その他 （福）静香会ほほえみ&みのり工房によるパン等の販売

(2) 健康づくり支援事業（Ⅲ）

高齢者の健康増進や介護予防を推進するため、ノルディックウォーク体験講習会やレクリエーションダンス交流会を開催した。

ア ノルディックウォーク体験講習会

開催日	会場	参加数	講習の内容
5月19日(月)	つま恋（掛川市）	40人	体験講習会の形式で開催。 公認インストラクターがノルディックウォークの正しい歩行法を教授。 実際にポールウォークを体験。
10月29日(水)	焼津市田尻浜（焼津市）	30人	
11月27日(木)	つま恋（掛川市）	84人	
12月3日(水)	横須賀城址（掛川市）	38人	
計	4会場	192人	

イ レクリエーションダンス交流会・地区女性リーダー交流会
女性委員会で最も人気のある事業で、交流会形式で開催した。

参加者合計 9回 約 1,090人

東部地区	中部地区	西部地区
伊豆の国市 1回 190人 裾野市 2回 160人	島田市 1回 120人	磐田市 1回 150人 浜松市 4回 470人

(3) シニアスポーツ普及推進事業（Ⅲ）

ア 第23回グラウンド・ゴルフ大会

- 開催日 令和7年10月21日(火)
- 会場 島田市川越広場 島田市グラウンド・ゴルフ場
- 参加者 シニアクラブ会員等 21市町 約533人
- 表彰等

- ①市町対抗団体戦 優勝 吉田町老人クラブ連合会
準優勝 島田市老人クラブ連合会
3位 焼津市老人クラブ連合会
- ②個人戦 赤組優勝（吉田町）、白組優勝（袋井市）、
青組優勝（浜松市） *5位まで表彰

イ 第13回輪投げ大会

- 開催日 令和7年12月12日(金)
- 会場 焼津市総合体育館「シーガルドーム」
- 参加者 シニアクラブ会員等
21市町 約300人（選手、役員及びスタッフ）
- 表彰等

- ①チーム対抗戦 優勝 浜松市三新むつみ会
準優勝 磐田市西堀雄和会
3位 浜松市入野
4位 磐田市新貝いきいき会
5位 焼津市上小杉盛朗会
- ②個人戦 優勝（磐田市）、準優勝（御殿場市）、3位（浜松市）
特別賞（100位、200位、最高齢）を設置

2 友愛・奉仕促進活動

(1) 友愛活動促進事業（Ⅰ）

友愛活動を促進するため、地域において優れた友愛活動を実施している3市3団体を会長表彰した。

地 区	被表彰団体名	団体数
東部地区	高馬はつらつクラブ（下田市） 大原町楽寿会（伊東市） 栢ノ木栢和会（御殿場市）	3（4）
中部地区	—	0（1）
西部地区	—	0（1）
計		3（6）

（ ）内は昨年度の表彰数

（2）地域支え合い推進事業（Ⅰ、Ⅱ）

高齢者が地域において、世代を超えてお互いを支え合う活動を促進するため、市町連合会と連携し、安心・安全ネットワーク構築、地域の環境改善推進活動等を支援した。

また、「友愛活動ハンドブック」、「“地域の絆” 推進運動ハンドブック」等を活用して、運動の啓発・普及に努めた。

市・町	内 容
下田市	・市内のボランティア団体、介護者の会と連携しての「ふれあいサロン事業」、「ボランティアサロン事業」、「地域見守り事業」の開催
伊豆の国市	・「サロン活動」、「小学生との体験学習活動」の実施
御殿場市	・「地域環境美化」、「地域見守り」、「社会奉仕」、「健康づくり」活動の実施
三島市	・「認知症予防」、「居場所づくり」、「地域環境美化」活動
富士宮市	・「学校応援団」、「高齢者学級」、「公民館まつり」、「e-スポーツ」の実施
焼津市	・安心・安全ネットワークの構築のための「クラブ大会」、「芸能祭」、「三市女性交流会」を開催 ・「独居・高齢夫婦のみ世帯」への友愛訪問活動の実施
藤枝市	・地区連合会が実施する「すこやか学級」の開催
御前崎市	・施設への「友愛訪問」、「見守り活動」としての戸別訪問を実施
浜松市	・「地域環境改善推進事業」の実施 ・「認知症対策講座」と安心・安全ネットワークの構築 ・環境美化活動と見守り
湖西市	・愛の声掛け運動と友愛訪問の実施
計	10 市 15 事業

(3) ふじさんっこ応援隊推進事業（Ⅰ）

子育てに悩む親が増加するとともに、学校でのいじめなど子ども達をめぐる様々な社会問題が顕在化しているため、高齢者の持つ豊富な知識と経験を活用し地域における子育て支援を推進する事業を県から受託した。

ア 「昔遊びによる世代間交流事業」

市町連合会と連携し「昔遊びコーナー」のブースを設置し、親子連れを中心に多くの方とふれあい交流を実施した。

(ア) 「エコパキッチンカーフェス 2025」への参画

西部地域 5 市の女性会員を中心に述べ 36 人が参加した。

- 開催日 令和 7 年 6 月 7 日(土)～8 日(日)
- 会 場 袋井市 小笠山総合運動公園 エコパスタジアムエントランス広場
- 主催者 静岡新聞社・静岡放送、エコパハウス（共催）
- 来場者 多数（不明）

(イ) プラサヴェルデ「こども夏だいがく 2025」への参画

東部地区 9 市町の女性会員を中心に述べ 74 人が参加した。

- 開催日 令和 7 年 8 月 2 日(土)～3 日(日)
- 会 場 沼津市 プラサヴェルデ多目的ホール
- 主催者 静岡新聞社・静岡放送、静岡県（共催）
- 来場者 約 3,800 人

イ ふじさんっこ応援隊モデル事業

10 市町連合会及び単位クラブが、計 81 回取り組んだ「ふじさんっこ応援隊活動」を支援した。

市・町	主 な 活 動
伊豆市（4 市）	食育で交流、スポーツ交流
御殿場市（2 市）	食育で交流等
裾野市（4 地区連）	昔遊び等
三島市（1 市）	三世代交流（もの作り交流、環境美化活動等）
富士宮市（市連、2 市）	昔遊び、スポーツ交流、伝承活動、支援拠点交流等
清水町（町連）	地域保育園との交流（一緒に制作活動や読み聞かせ等）
長泉町（町連）	支援拠点交流
焼津市（1 市）	スポーツ交流
掛川市（4 市）	昔遊び、見守り活動等
磐田市 （2 支部連、2 地区連、3 市）	昔遊び、スポーツ交流、伝承活動

3 地域福祉等研修活動

(1) 地域福祉人材養成事業（Ⅱ、Ⅳ）

ア 単位クラブ新任会長研修会

新たに単位クラブの会長となった者を対象に、6 会場で研修会を開催した。

開催日	会 場	参加者	内 容
6 / 6	掛川市生涯学習センター	26 人	・ 状況報告等 （県老連事務局） ・ 介護保険について （介護支援専門員） ・ 交通安全について （警察） ・ 連絡事項など
6 / 10	磐田市総合健康福祉会館 i プラザ	24 人	
6 / 13	焼津文化会館	26 人	
6 / 17	裾野市生涯学習センター	61 人	
6 / 20	下田市民文化会館	30 人	
7 / 3	浜松市福祉交流センター	69 人	
計		236 人	

イ 市町連合会事務担当者会議

県の高齢者福祉施策、県連合会の事業方針説明、意見交換等を行なった。

○開催日 令和 7 年 4 月 10 日(木)

○会 場 静岡県総合社会福祉会館会議室

○参加者 事務担当者等 23 人

○内 容 県高齢者福祉施策、シニアクラブ静岡県の事業説明、意見交換等

ウ 女性リーダー研修会

市町連合会の女性委員等を対象とした研修会を各地区の県若手委員・活動推進相談員の参加を得て、県下 4 会場で開催した。

いずれの会場も女性委員会活動報告、講座（ブロック研修会で行った仲田育美 FSC 副会長の事例発表）の他、グループ別意見交換を行った。

○令和 7 年 11 月 13 日 静岡市総合社会福祉会館 26 人

○令和 7 年 11 月 27 日 浜松市福祉交流センター 36 人

○令和 7 年 12 月 11 日 沼津市プラサヴェルデ 52 人

○令和 7 年 12 月 11 日 下田市市民文化センター 8 人

(2) 全国連合会研修会等参加事業（Ⅱ）

ア 第 54 回全国老人クラブ大会

令和 7 年 11 月 5 日・6 日の両日、茨城県「水戸市民会館」において開催された大会に参加した。

○参 加 者 約 1,200 人（本県参加者 21 人）

○歓迎の言葉 坂本茨城県老連会長

○内 容 全老連会長あいさつ、表彰、講演、活動発表、大会宣言等

<全国老人クラブ連合会会長表彰>

- ① 老人クラブ育成功労表彰 114 名
※本県関係 海瀬 常明（前県老連理事/東伊豆町）
鎌野 公種（前県老連評議員/裾野市）
- ② 女性リーダー育成功労表彰 42 名
※本県関係 榊原 卓子（前県老連女性委員会副委員長/島田市）
- ③ 若手リーダー育成功労表彰 34 名
※本県関係 平瀬 清人（県老連若手委員会副会長/長泉町）
- ④ 優良老人クラブ表彰 61 団体
※本県関係 「千寿会」（浜松市）
- ⑤ 優良老人クラブ連合会表彰 47 団体
※本県関係 「シニアクラブ河津」
- ⑥ 永年勤続表彰 16 名 ※本県なし

イ 都道府県・指定都市老連代表者会議

- 令和 8 年 2 月 4 日・5 日 全社協「灘尾ホール」
- 出席者 会長、女性委員長、事務局長
- 挨拶 全老連 村木会長
- 行政説明 厚労省 清水認知症施策・地域介護推進課長補佐
- 基調説明 全老連 松島常務理事
- 活動発表 青森県、石川県、愛媛県各事務局長
- グループ討議 「わくわく元気な活動を広げるために」

ウ 都道府県・指定都市老連事務局長会議

- 令和 7 年 7 月 30 日 全社協 5 階 第 3～5 会議室
- 出席者 事務局長
- 行政説明 厚労省 清水認知症施策・地域介護推進課長補佐
- 基調説明 全老連 松島常務理事
- 事例発表 千葉県老連、横浜市老連、大阪市老連

エ 関東甲信越静岡ブロック老人クラブリーダー研修会

- 令和 7 年 6 月 25 日・26 日 軽井沢町「軽井沢プリンスホテルウエスト」
- 参加者 16 都県・政令市 約 230 人（本県参加者 15 人）
- 基調報告 「老人クラブ活動の振興に向けて」 全老連 河野参事
- パネルディスカッション「笑顔あふれるクラブづくり」
コーディネーター 浅井みどり
パネラー
静岡県ふじさんシニアクラブ富士宮富士根南支部 仲田育美
静岡市清水区シニアクラブ連合会八坂北シニアクラブ 土村 巴
長野県上田市高齢者クラブ連合会つくし寿会 柳沢 泉
長野県安曇野市シニアクラブ連合会岩原豊葦会 宮島千里
- 表彰式（関東甲信越静岡ブロック連絡協議会会長表彰）
関東甲信越静岡ブロック連絡協議会会長表彰 役員 39 人、職員 1 人

※本県関係（役員 6 人）

遠藤耕輔（県老連副会長/さわやかクラブやいず会長）
梅津史紀（県老連理事/東伊豆町シニアクラブ会長）
鈴木浩一（県老連理事/シニアクラブ掛川会長）
近藤明彦（県老連評議員/シニアクラブ三島会長）
本田博美（県老連評議員/函南シニアクラブ会長）
岩根政次（県老連評議員/吉田町さわやかクラブ会長）

オ 関東甲信越静岡ブロック連絡協議会事務局長会議

○令和 7 年 4 月 8 日 東京都健康プラザ「ハイジア」4 階会議室

○出席者 事務局長

○内容 事業報告、収支決算（案）、事業計画、収支予算（案）、
会費分担額（案）、会長表彰被表彰者候補等協議会運営に関
する 13 議題の議決

カ 関東甲信越静岡ブロック連絡協議会会長・理事長会議

○令和 7 年 5 月 8 日 東京都健康プラザ「ハイジア」研修室

○出席者 会長、女性委員長、事務局長

○内容 事業報告、事業計画、会費分担額等協議会運営に関する 8 議
案の議決及び今年度開催大会・研修会に関する 3 報告

○厚生労働省の調査研究事業報告「地域共生の推進に向けた老人クラブと
の協働を目指して」について各老連より意見開陳

キ 関東甲信越静岡ブロック連絡協議会活動推進員等研修会

○幹事老連：横浜市老人クラブ連合会

○令和 7 年 7 月 31 日 横浜市開港記念会館

○出席者 活動推進員を中心に 28 人（別に横浜市会員 75 人）
当連合会 活動推進員 2 人

○内容 講演「つながりサポーター養成講座」

特定非営利活動法人 新公益連盟 井澤 徹 氏
「孤独・孤立対策について」

内閣府孤独・孤立対策推進室参事官 村瀬剛太 氏

(3) 介護保険利用者意識事前啓発事業（Ⅰ、Ⅲ）

単位クラブ新任会長研修会等において、介護保険制度や介護予防に係る講座
を実施した。

また、県連合会広報紙「シニアクラブ通信」令和 7 年 7 月号（1/2 ページ）及
び 8 年 1 月号（2 ページ）に介護保険に係る特集を掲載した。

4 仲間づくり推進活動

(1) 活動推進相談員活動費助成事業（Ⅱ、Ⅳ）

市町連合会に対し、単位クラブの運営指導等を行う「クラブ活動推進相談員」の活動費を助成。

○クラブ活動推進相談員 助成定数 229 人（年間 1 人 6,200 円）

(2) クラブ解散・休会等再興支援事業（Ⅱ）

ア 再興・新設に向けた活動への市町助成

○1 事業当たり 7 万円

市・町	内 容
熱海市	・活動推進委員会を設置。「だれでも食堂」、「こどもさんと一緒に！わなげ大会」、「クラブ活動について相談」、「e-スポーツ実践研修」活動 PR と、単位クラブの悩みの掌握
伊豆の国市	・「女性部の再構築」での加入促進、「カラーリング事業」の開催。
御殿場市	・会長、副会長、活動推進相談員で評議員会を組織し、非会員が参加できるイベントを開催
富士宮市	・常任理事で構成した推進組織で各種大会を開催し、準会員として参加を呼び掛け。
長泉町	・プラスワン委員会の提言実施のほか広報による活動アピール。
焼津市	・直結クラブ内のグループに声掛けグラウンドゴルフ大会を開催。ほぼ全クラブが参加しての大会を開催できた。 ・三役、理事、若手・女性委員 20 名で推進委員会を設置し、「輪投げ大会」を開催。
湖西市	・単ク毎に加入促進委員を設け年 3 回「会員加入委員会」を開催。
計	7 市町 8 事業

イ 再興・新設に向けた市町活動を支援する相談員への助成

○クラブ活動推進相談員 助成定数 229 人（年間 1 人 1,000 円）

(3) 若手高齢者組織化・活動推進事業（Ⅱ、Ⅲ）

若手高齢者会員の入会を促進するとともに、市町連合会から派遣された若手委員により「シニアクラブ静岡県若手委員会」の活動を行った。

ア 総会

開催日	会 場	内 容	出 席 者
5 月 13 日	静岡市総合社会福祉会館	1 役員選出 2 令和 6 年度活動報告 3 令和 7 年度活動計画（案） 4 意見交換 5 事務局報告	若手委員 14 人 福祉長寿政策課事務局
3 月 10 日	静岡市総合社会福祉会館	1 令和 7 年度活動報告 2 若手委員会地域交流推進事業実施について 3 全国会長表彰候補者選任 4 意見交換 5 クラブ活性化への提案・理事あて提言	若手委員 15 人 事務局

イ 歴史探訪ウォーキング

地区	開催日	内 容	参加者
東部	11 月 21 日	沼津市志下海岸	中止
中部	11 月 7 日	島田市夢づくり会館→合格駅→日限地蔵尊 約 2 km	6 市町 約 200 人 (牧之原市を含む)
西部	11 月 22 日	森町総合体育館→歴史民俗資料館→雨宮神社→街並みと蔵展→次郎柿の原木 約 4 km	8 市町 約 220 人

ウ 地域交流会

地区	開催日	内 容	参加者
東部	2 月 27 日	意見交換会 (会員増強、役員の成り手不足対策、交通手段方法等)	6 市町 約 40 人
中部	1 月 29 日	歴史探訪ウォーキング振り返り 各市町の加入足跡活動等報告 モルック・e-スポーツ体験	4 市町 28 人
西部	10 月 28 日	講話「ご縁と感謝」 講師：正林寺 後藤道照住職 若手委員会報告 御前崎市 女性委員会報告 菊川市 新しい取組報告 掛川市	8 市町 約 35 人

エ 地域交流推進事業（新規）

市町連合会の枠を超えた交流を促進する大会を東部地域に委託した。

○開催日 令和8年2月19日（木） 午前9時～午後2時

○会 場 長泉町竹原グランド

○参加者 12市町142人

○内 容 東部地域のグラウンドゴルフ大会

(4) 地域クラブ活性化事業（Ⅰ、Ⅱ）

市町連合会と連携し、魅力と活力に溢れたクラブ活動を促進するとともに、クラブ活動功労者等の表彰を行った。

ア 地域クラブ活性化推進事業

クラブ活動が魅力に溢れ、活発な活動が展開されるよう、市町連合会が取り組む健康づくり推進事業など、クラブ基盤強化事業等を支援した。

市・町	事 業 内 容
熱海市	・「GG大会」、「出前講座」、「多世代交流事業」の開催
伊豆の国市	・「e-スポーツ体験会」の開催し、地元新聞への取材依頼で活動をアピール。
御殿場市	・「親睦パークゴルフ大会」の開催 ・「女性手芸教室」、「お誕生日会」の開催
三島市	・地区連合会10単クでの年10回の合同事業の開催
富士宮市	・「スマホ教室」、他団体との交流事業の開催 ・「ベイシア浦安」との交流事業の開催
南伊豆町	・輪投げ大会の開催
長泉町	・交流研修会、健康づくり、学び直し教室の開催
藤枝市	・「高齢者向けe-スポーツ講座」の開催 ・「e-スポーツクラブ」の設立 ・「モルック部」の立ち上げ
島田市	・「スポーツ大会」の開催 ・「会員のつどい」の開催
菊川市	・「女性部交流会・健康講演会」の開催
浜松市	・地域広報誌に「楽しむシニアクラブ」を掲載 ・友愛訪問、誕生日会での炊き出し訓練、3世代交流御楽しみ会の開催 ・介護予防講習の開催と毎日の多種目活動の実施。
湖西市	・「連合大会」「いきいき健康フェスタ」の開催
森町	・「フラワーアレンジメント教室」の開催
計	13市町 20事業

イ 仲間づくり促進モデル事業

会員加入を促進するため、市町連合会と単位クラブが連携して、仲間づくり促進に関する「計画・実行・評価」を内容とする実践活動を行うモデル事業を支援した。

市・町	事業内容
伊豆の国市	・「そば打ち体験会」開催での加入促進。
御殿場市	・定例活動での加入促進
沼津市	・趣味活動・クラブへの体験入会や見学等シニアクラブ活動に親しみやすい環境の創出。 ・懇親大会開催での加入促進 ・自治会、地域サロンとの連携での加入促進 ・非会員も参加自由のグラウンドゴルフ促進会を毎月2回開催することでの加入促進。
富士宮市	・タクシー代補助制度の周知を図ることでイベント参加につなげ、加入促進を図る。
南伊豆町	・各種大会への非会員の参加を募ることでの加入促進
掛川市	・広報誌に若手委員会・活動推進部の記事を掲載し、旧掛川市内全戸への回覧を実現。 ・「健康ノルディックウォーキング」「親睦グラウンドゴルフ大会」「笑いと歌声ひろば」を開催し、非会員の参加を募る。
浜松市	・地区自治会と連携し、クラブへの体験入会や見学等クラブに親しみやすい環境の創出 ・「趣味部紹介冊子」を作成し、各クラブ、会員への配布や公共施設への配架を行う。 ・仲間づくり実行委員会を設置し、月1回の実行委員会を開催。 ・地域の一人暮らしの方との交流、訪問の実施。 ・誕生日会、作品展への参加呼びかけ及び回覧での周知を図る。 ・地区社協と協働し、eスポーツをサロン活動に取り入れることを提案。地域住民が自由に参加できるサロン活動とするため、4月より「e-脳活倶楽部」を立ち上げ、毎月第1月曜日に開催。
計	7市町 16事業

ウ 県連合会会長表彰

シニアクラブ活動の発展に貢献のあった功労者等に表彰を行った。

(ア) 表彰審査委員会

決議日	場 所	内 容	出 席 者
8月21日	シズウエル 601会議室	1 経過報告 2 審 査	県老連理事 19人 事務局

(イ) 審査結果（功労者）

（単位：人）

項 目	推薦数	審 査 結 果	
		該 当	非 該 当
第 1 号(会長 4 年以上)	56	56	0
第 2 号(正副会長、会計等 8 年以上)	90	90	0
第 3・4 号(クラブに協力・援助)	0	0	0
第 5 号(会長特認)	3	3	0
計	149	149	0

エ 会員加入促進運動表彰

会員加入促進運動における成績優良な市町連合会及び単位クラブを表彰し、その功績を讃えている。令和 6 年度中の会員数の増加を収めた市町連合会及び単位クラブを、7 年度第 2 回理事会において、被表彰団体として決定した。

(ア) 市町連合会

○シニアクラブ袋井市

(イ) 単位クラブ

○会員数が 5 人以上かつ 1 割以上増加した単位クラブ 44 クラブ

○前年会員数が 90 人以上で年間 1 割以上の新規加入者 2 クラブ

が あ っ た 単 位 シ ニ ア ク ラ ブ（⑥年度新設表彰）

○再開した単位クラブ 0 クラブ

○新設した単位クラブ 4 クラブ

5 高齢者住宅整備貸付金管理事務受託事業

静岡県 の 委 託 を 受 け て、静 岡 県 高 齢 者 住 宅 整 備 資 金 貸 付 金（平成 16 年度で貸付終了）に係る延納分の償還管理業務を行った。

延納分の償還管理業務のみのため、7 年度をもって受託業務を終了する。

6 広報・連絡調整活動

(1) 広報誌の発行（Ⅱ）

広報誌「シニアクラブ通信」を発行し、会員等に配布した。

号	印刷部数等	内 容
夏号 通巻 173 号 7 月発行	A 4 判 16 頁 (52, 300 部)	クラブ活動紹介、健康スポーツの紹介、介護保険特集、シニアクラブ文壇、県連合会からのお知らせ、コラム など
新年号 通巻 174 号 1 月発行	A 4 判 16 頁 (52, 000 部)	クラブ活動紹介、介護保険特集、シニアクラブ文壇、県連合会の行事紹介・お知らせ など

(2) ホームページの再開について（Ⅱ）

一昨年の８月に発生したハッキング（詳細は不明）によりやむなく閉鎖していたホームページを８年１月に、セキュリティ強化、各市町連合会のアイコン設置、スマホ対応、管理費の軽減化等を図り、再開した。

(3) パブリシティ活動（Ⅱ）

グラウンド・ゴルフ大会、輪投げ大会について静岡新聞に掲載された。

(4) クラブ傷害保険の普及（Ⅲ）

クラブ活動などに安心して取り組めるよう、全老連「老人クラブ傷害保険」の推奨普及に努めた。

〔老人クラブ傷害保険加入状況〕

種 別	令和７年度	令和６年度	令和５年度
クラブ活動型 総 合 型	2,527 人*1	2,409 人*1	2,650 人*1
賠償責任保険	842 人	896 人	1,222 人

* 1：クラブ活動型と総合型の合算数

7 物資等斡旋活動

輪投げや会員証の会員価格での斡旋、会計帳票類の作成・斡旋を行い、会員の便宜を図った。

8 組 織 運 営

(1) 理事会

開催日	場 所	内 容
令和７年 ５月２０日（火）	県総合社会 福祉会館 会議室	1 議案 ・ 令和６年度事業報告(案)について ・ 令和６年度収入支出決算書(案)について ・ 理事及び監事の選任議案の提出について ・ 評議員の選任議案の提出について 2 協議事項 ・ 第５４回全国老人クラブ大会について ・ 令和８年度関東甲信越静岡ブロック老人クラブリーダー研修会について 3 報告事項 ・ 臨時理事会の開催について

開催日	場 所	内 容
令和7年 6月4日（水）	県総合社会 福祉会館 会議室	1 議案 ・会長の選定について ・副会長、常務理事の選定について 2 報告事項 ・全国老人クラブ連合会会長表彰候補の推薦 ・令和7、8両年度関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会 ・高齢者いきいき創造広場の開催概要 ・会長新任研修会について
令和7年 8月21日（木）	県総合社会 福祉会館 会議室	○ 表彰審査委員会(会長表彰・友愛活動表彰) 1 協議事項 ・令和7年度会員加入促進運動表彰について ・令和7年度加入促進運動の実施について ・基本財産の運用方針について 等 2 議案 ・評議員会の招集について 3 報告事項 ・全老連会長表彰等の決定、グラウンドゴルフ・輪投げ大会、基本台帳調査結果について 等
令和8年 3月24日（火）	県総合社会 福祉会館 会議室	1 協議事項 ・シニアクラブ静岡県の今後のあり方について ・令和8年度会員加入促進運動の推進について（加入促進に向けた理事会宣言の採択） ・令和8年度関東甲信越静ブロック連絡協議会会長表彰及び全国老人クラブ連合会会長表彰候補者の推薦について ・令和8年度関東甲信越静ブロックリーダー研修会及び全国老人クラブ大会への参加について ・令和8年度関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会の開催について 2 議案 ・令和8年度事業計画(案)について ・令和8年度収入支出予算書(案)について ・監事の選任議案の提出について ・評議員会の招集について 3 報告事項 ・令和7年度女性委員会・若手委員会の活動状況、全国老人クラブ連合会「活動賞」の推薦、令和8年度県・市町連携事業、令和8年度の主な行事予定、ホームページのリニューアル 等

(2) 評議員会

開催日	場 所	内 容
令和 7 年 6 月 4 日 (水)	県総合社会 福祉会館 会議室	1 議案 ・ 令和 6 年度収入支出決算書(案)について ・ 理事及び監事の選任について ・ 評議員の選任について 2 報告事項 ・ 令和 6 年度事業報告 (以下、5 月 20 日開催の理事会の報告事項内容等)
令和 8 年 3 月 24 日 (火)	県総合社会 福祉会館 会議室	1 議案 ・ 令和 8 年度事業計画(案)について ・ 令和 8 年度収入支出予算(案)について ・ 監事の選任について 2 報告事項 ・ シニアクラブ静岡県の今後のあり方について ・ 令和 8 年度会員加入促進運動の推進について (以下、3 月 24 日開催理事会の報告事項内容等)

(3) 監事会

開催日	場 所	内 容
令和 7 年 5 月 12 日 (月)	シニアクラ ブ静岡県 事務室	令和 6 年度事業報告並びに決算について

(4) 会長・副会長会議

開催日	場 所	内 容
令和 7 年 12 月 19 日 (金)	県総合社会 福祉会館 会議室	1 協議事項 ・ 令和 8 年度当初予算について ・ 令和 8 年度関東甲信越静岡ブロックリーダー研修会の開催について ・ 令和 8 年度ブロック・全国表彰候補について 2 視察及び挨拶 ・ 令和 8 年度関東甲信越静岡ブロックリーダー研修会場（掛川市つま恋）視察 ・ 掛川市、掛川市社会福祉協議会協力依頼

(5) 女性委員会

開催日	場 所	内 容
総会 令和 7 年 5 月 13 日 (火)	県総合社会 福祉会館会 議室	1 報告事項 ・ 令和 6 年度女性委員会活動報告 2 協議事項 ・ 女性委員会役員の選任について ・ 全国老人クラブ連合会会長表彰候補者の推薦 について ・ 令和 7 年度女性委員会活動計画 (案)
第 1 回正副委員 長会議 令和 7 年 5 月 13 日 (火)	県総合社会 福祉会館会 議室	・ 令和 7 年度女性委員会活動予定 ・ 世代間交流イベントについて ・ 高齢者いきいき創造広場について ・ 女性リーダー研修会について
第 2 回正副委員 長会議 令和 7 年 7 月 29 日 (火)	県総合社会 福祉会館会 議室	・ 女性リーダー研修会 講師・内容、開催日・場 所について ・ 若手委員会との連携・協働 ・ 令和 8 年度関ブロリーダー研修会の当県開催に ついて
第 3 回正副委員 長会議 令和 7 年 10 月 1 日 (水)	県総合社会 福祉会館会 議室	・ 女性リーダー研修会開催地・開催日、内容決定。 ・ 令和 8 年度関ブロリーダー研修会について ・ 7 年度下期活動報告
臨時正副委員長 会議 令和 8 年 3 月 24 日 (火)	県総合社会 福祉会館体 育館	・ 令和 8 年度全国老人クラブ連合会会長表彰候補 の推薦について

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	44,899	67,805	△ 22,906
普通預金	11,059,125	8,159,504	2,899,621
未収金	1,927,601	3,929,408	△ 2,001,807
会員章	32,000	46,000	△ 14,000
歌集	715,335	781,767	△ 66,432
前払費用	38,026	106,944	△ 68,918
流動資産合計	13,816,986	13,091,428	725,558
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金（指定）	20,256,292	25,256,292	△ 5,000,000
投資有価証券（指定）	17,000,000	12,000,000	5,000,000
基本財産合計	37,256,292	37,256,292	0
(2) 特定資産			
補助事業備品（指定）	3	3	0
退職給付引当資産	1,878,690	1,648,680	230,010
運転資金積立金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	5,878,693	5,648,683	230,010
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	17	12,850	△ 12,833
その他固定資産合計	18	12,851	△ 12,833
固定資産合計	43,135,003	42,917,826	217,177
資産の部合計	56,951,989	56,009,254	942,735
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	129,968	281,878	△ 151,910
預り金	56,370	221,632	△ 165,262
前受金	64,257	71,891	△ 7,634
流動負債合計	250,595	575,401	△ 324,806
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,878,690	1,648,680	230,010
固定負債合計	1,878,690	1,648,680	230,010
負債の部合計	2,129,285	2,224,081	△ 94,796
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	3	3	0
寄付金	37,256,292	37,256,292	0
指定正味財産合計	37,256,295	37,256,295	0
（うち基本財産への充当額）	(37,256,292)	(37,256,292)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(3)	(3)	(0)
2. 一般正味財産	17,566,409	16,528,878	1,037,531
（うち特定資産への充当額）	(4,000,000)	(4,000,000)	(0)
正味財産合計額	54,822,704	53,785,173	1,037,531
負債及び正味財産合計	56,951,989	56,009,254	942,735

財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
I 資 産 の 部		
1 流動資産		
(1) 現金預金		
現金	44,899	
普通預金	11,059,125	
		静岡銀行本店224642 8,793,241
		静岡銀行本店1021418 1,543,127
		静岡銀行本店631690 89,000
		静岡銀行本店1477594 9,520
		静岡信用金庫本店 4,393
		ゆうちょ銀行鷹匠町支店 565,107
		横浜幸銀信用組合 52,471
		しずおか焼津信用金庫 2,266
現金預金合計	11,104,024	
(2) その他流動資産		
未収金	1,927,601	
		県社協助成金 1,927,000
		図書斡旋手数料 601
会員章	32,000	クラブ会員章バッジ
歌集	715,335	愛唱歌集
前払費用	38,026	(株)サクセス 保守料 外
その他流動資産合計	2,712,962	
流動資産合計	13,816,986	
2 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	20,256,292	
		しずおか焼津信用金庫 10,956,292
		横浜幸銀信用組合 9,300,000
有価証券	17,000,000	
		国債 6,000,000
		静岡県債 6,000,000
		仙台市債 5,000,000
基本財産合計	37,256,292	

科 目	金 額	摘 要
(2) 特定資産		
補助事業備品	3	パソコン 外
退職給付引当資産	1,878,690	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金
運転資金積立金	4,000,000	静岡銀行本店0477526 4,000,000
特定資産合計	5,878,693	
(3) その他固定資産		
車両運搬具	1	
什器備品	17	
その他固定資産合計	18	
固定資産合計	43,135,003	
資産合計	56,951,989	
Ⅱ 負債の部		
1 流動負債		
未払金	129,968	物資仕入 外
預り金	56,370	高齢者住宅整備資金貸付償還金 外
前受金	64,257	国庫債券買付差額
流動負債合計	250,595	
2 固定負債		
退職給付引当金	1,878,690	職員退職手当引当金
固定負債合計	1,878,690	
負債合計	2,129,285	
Ⅲ 正味財産の部		
1 指定正味財産		
基本財産	37,256,292	
静岡県補助金	3	
指定正味財産合計	37,256,295	
2 一般正味財産		
期首一般正味財産	16,528,878	
正味財産増減額	1,037,531	
一般正味財産合計	17,566,409	
正味財産合計	54,822,704	
負債及び正味財産合計	56,951,989	

正味財産増減計算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	105,695	51,739	53,956
受取会費			
受取分担金	6,826,640	7,348,440	△ 521,800
特別会員受取会費	0	0	0
事業収益			
事業収益	1,180,399	1,272,880	△ 92,481
雑収入	1,317,321	1,253,850	63,471
受取補助金等			
受取静岡県補助金	9,328,000	9,328,000	0
受取県社協助成金	10,802,000	10,802,000	0
受取負担金			
受取県受託金	3,836,232	3,828,725	7,507
受取寄附金			
受取寄附金	47,800	8,200	39,600
雑収益			
雑収益	43,221	21,981	21,240
経常収益計	33,487,308	33,915,815	△ 428,507
(2) 経常費用			
事業費			
仕入高	720,985	800,160	△ 79,175
給料手当	6,510,632	6,372,468	138,164
退職給付費用	0	226,050	△ 226,050
福利厚生費	687,257	671,856	15,401
旅費交通費	1,810,901	1,020,222	790,679

科 目	当年度	前年度	増 減
通 信 運 搬 費	393,955	615,978	△ 222,023
消 耗 品 費	639,524	583,001	56,523
印 刷 製 本 費	443,698	364,250	79,448
食 糧 費	400,192	378,308	21,884
研 修 費	0	13,000	△ 13,000
使 用 料 ・ 賃 借 料	484,968	652,220	△ 167,252
諸 謝 金	330,000	435,000	△ 105,000
租 税 公 課	1,800	800	1,000
支 払 負 担 金	897,464	855,700	41,764
支 払 助 成 金	2,668,806	2,815,150	△ 146,344
委 託 費	8,359,258	8,390,774	△ 31,516
報 償 費	188,500	183,000	5,500
支 払 手 数 料	71,582	77,630	△ 6,048
車 両 維 持 管 理 費	207,330	0	207,330
保 險 料	44,240	52,460	△ 8,220
管理費			
役 員 報 酬	4,548,206	4,850,700	△ 302,494
給 料 手 当	800,974	1,475,670	△ 674,696
退 職 給 付 費 用	230,010	0	230,010
福 利 厚 生 費	730,009	788,972	△ 58,963
会 議 費	422,482	412,783	9,699
旅 費 交 通 費	10,000	0	10,000
通 信 運 搬 費	10,000	9,549	451
減 価 償 却 費	12,833	38,504	△ 25,671
消 耗 品 費	10,000	27,506	△ 17,506
印 刷 製 本 費	10,000	639	9,361
使 用 料 ・ 賃 借 料	10,000	28,908	△ 18,908
租 税 公 課	115,117	81,629	33,488
支 払 負 担 金	414,103	564,892	△ 150,789
支 払 手 数 料	21,310	10,724	10,586
車 両 維 持 管 理 費	0	166,932	△ 166,932

科 目	当年度	前年度	増 減
委 託 費	243,641	316,390	△ 72,749
雑 費	0	20,000	△ 20,000
経常費用計	32,449,777	33,301,825	△ 852,048
評価損益等調整前 当期経常増減額	1,037,531	613,990	423,541
当期経常増減額	1,037,531	613,990	423,541
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,037,531	613,990	423,541
一般正味財産期首残高	16,528,878	15,914,888	613,990
一般正味財産期末残高	17,566,409	16,528,878	1,037,531
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	37,256,295	37,256,295	0
指定正味財産期末残高	37,256,295	37,256,295	0
Ⅲ 正味財産期末残高	54,822,704	53,785,173	1,037,531

収支計算書に対する注記

令和 8 年 3 月 3 1 日

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払費用、会員章、歌集、未払金、預り金及び前受金を含んでいる。
なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

科 目	当期末残高	前期末残高
現金預金	11, 104, 024	8, 227, 309
未収金	1, 927, 601	3, 929, 408
前払費用	38, 026	106, 944
会員章	32, 000	46, 000
歌集	715, 335	781, 767
資産計	13, 816, 986	13, 091, 428
未払金	129, 968	281, 878
預り金	56, 370	221, 632
前受金	64, 257	71, 891
負債計	250, 595	575, 401
次期繰越収支差額	13, 566, 391	12, 516, 027

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
満期保有目的の債券は、償却原価法(定額法)とする。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について
会員章、歌集・・・個別原価法に基づく原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却について
減価償却資産・・・定額法による減価償却を実施する。
- (4) 引当金の計上基準について
退職給付引当金・・・事業年度末要支給額
- (5) 消費税等の会計処理について
税込処理によるものとする。

2 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	25,256,292		5,000,000	20,256,292
投資有価証券	12,000,000	5,000,000		17,000,000
小 計	37,256,292	5,000,000	5,000,000	37,256,292
特定資産				
補助事業備品	3			3
退職給付引当資産	1,648,680	230,010		1,878,690
運転資金積立金	4,000,000			4,000,000
小 計	5,648,683	230,010	0	5,878,693
合 計	42,904,975	5,230,010	5,000,000	43,134,985

3 引当金の増減額及び残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増減額	当期末残高
退職給付引当金	1,648,680	230,010	1,878,690
合 計	1,648,680	230,010	1,878,690

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	内、指定正味 財産からの 充当額	内、一般正味 財産からの 充当額	内、負債に 対応する額
基本財産				
定期預金	20,256,292	20,256,292		
投資有価証券	17,000,000	17,000,000		
小 計	37,256,292	37,256,292	0	0
特定資産				
補助事業備品	3	3		
退職給付引当資産	1,878,690			1,878,690
運転資金積立金	4,000,000		4,000,000	
小 計	5,878,693	3	4,000,000	1,878,690
合 計	43,134,985	37,256,295	4,000,000	1,878,690

5 固定資産の取得価額、減価償却額累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,529,790	1,529,789	1
什器備品	1,524,330	1,524,310	20
合 計	3,054,120	3,054,099	21

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額及び評価損益

(単位:円)

種 別	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	6,000,000	5,402,400	△597,600
376 回利付国庫債券(10 年)			
静岡県債	6,000,000	5,547,000	△453,000
2 年度 9 回 10 年			
仙台市債	5,000,000	4,835,000	△165,000
7 回グリーンbond公募公債5年			
合 計	17,000,000	15,784,400	△1,215,600